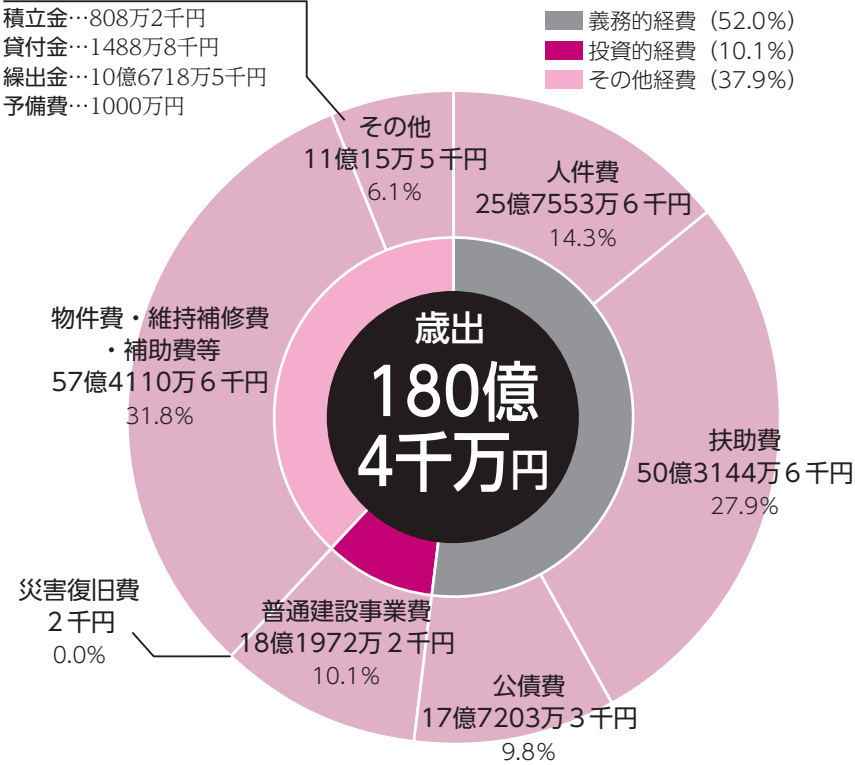
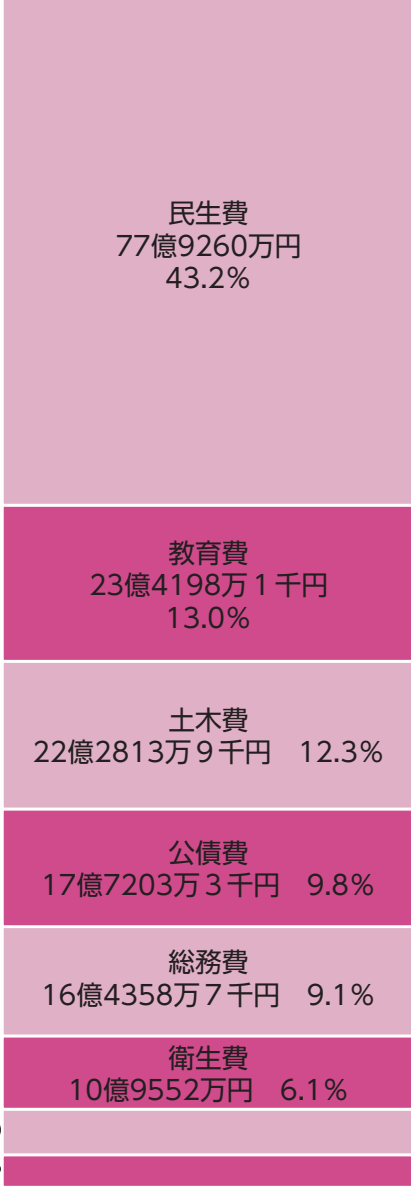


性質別グラフ



目的別グラフ

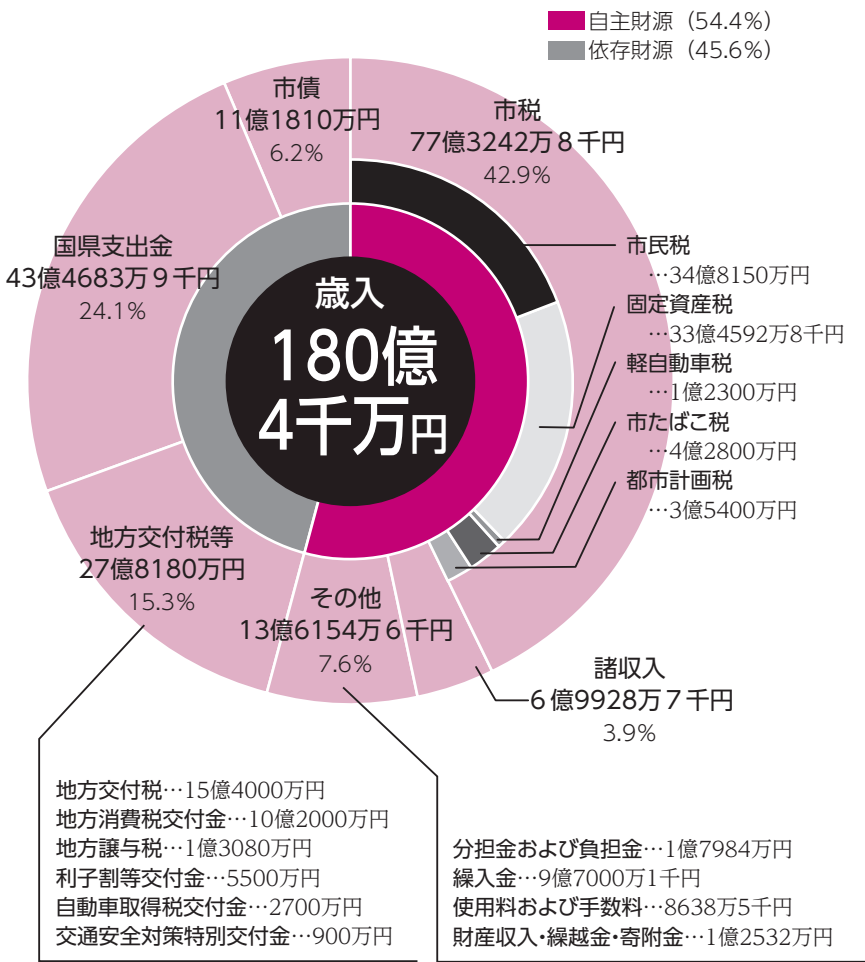


用語説明

【歳入】市税：皆さんに納めていただく税金。
地方交付税：地域間の格差を少なくするために国税の一部を地方に交付するお金。
国県支出金：市が行う事業に対して国や県から交付されるお金。
市債：市の借入金（借金）で、償還が会計年度を越えて行われるもの。
繰入金：基金の取り崩し金や他の会計から繰り入れるお金。
【歳出】民生費：生活保護、障害者・高齢者に対する福祉、子育て支援などに関する経費。
教育費：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などに関する経費。
土木費：道路、河川、公園などの整備・維持などに関する経費。
公債費：市債の償還に関する経費。
総務費：行政の事務などに関する経費。
衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などに関する経費。
消防費：消防や防災などに関する経費。
議会費：議会運営に関する経費。
商工費：商工業や観光振興に関する経費。
農林水産業費：農業振興などに関する経費。
労働費：労働者支援に関する経費。
予備費：予定外の支出や予算を超過した支出へ対応するために準備しておく費用。
人件費：報酬や給与などの経費。
扶助費：生活保護対象者、高齢者、児童、心身障害者などに行う支援のための経費。
普通建設事業費：道路や公共施設の建設事業に必要なとされる投資的な経費。
物件費：賃金や旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費。
維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費。
補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費。
積立金：将来に備えて積み立てておく費用。
貸付金：公益社団法人などに対する貸付のための経費。
繰出金：一般会計から特別会計に対して法令の基準に基づき負担する経費。

平成31年度 市の予算

1年間の収入と支出の見積もりについて、お知らせします。
市ホームページでも紹介しています。財政課 ☎227-6031



市債 ➡ 現在高

市債の今年度末の残高は前年度末に比べ、約5億1800万円減少し、207億4449万5千円となる見込みです。

	平成30年度末	平成31年度中増減見込み		平成31年度末
	現在高見込額	起債見込額	元金償還見込額	現在高見込額
総務	98億1127万1千円	6億5000万円	7億8488万3千円	96億7638万8千円
土木	52億6660万1千円	2億8560万円	3億510万1千円	52億4710万円
教育	37億4848万2千円	1億4080万円	3億2793万5千円	35億6134万7千円
消防	10億9270万円	480万円	1億1062万5千円	9億8687万5千円
民生	5億7758万8千円	-	6325万8千円	5億1433万円
その他	7億6556万4千円	3690万円	4400万9千円	7億5845万5千円
合計	212億6220万6千円	11億1810万円	16億3581万1千円	207億4449万5千円

※その他の内訳：農林水産業・商工・衛生・公営住宅

一般会計当初予算総額は、180億4千万円となっており、「にぎわいの里のいちカミーノ」の建設が終了したことなどにより前年度と比較して、23億6千万円（11.6%）減となっています。

歳入は、市税が最も大きな割合（42.9%）を占めています。次いで、国や県の補助金が24.1%、地方交付税等が15.3%、市債（国や銀行からの借金）が6.2%となっています。

歳出に対して歳入が不足することから、基金から9億7千万円を繰り入れます。

歳入は、市税などの「自主財源」と国や県からの交付による「依存財源」の大きく2つに分けられ、自主財源が多いほど自主的な財政運営ができると言えます。

※なぜ借金（市債）するのか
市がつくる道路や学校などの施設の財源は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。

特別会計	
	歳入・歳出
国民健康保険	44億6500万円
後期高齢者医療	4億9100万円
介護保険	25億4800万円
水道事業会計	
収益的収入	8億9000万円
収益的支出	7億8700万円
資本的収入	3億4900万円
資本的支出	6億8500万円
公共下水道事業会計	
収益的収入	11億7800万円
収益的支出	13億1300万円
資本的収入	7億2400万円
資本的支出	11億4200万円